

平成30年度

## 事業報告書

特別養護老人ホーム虹ヶ丘  
ヶ ア ハ ウ ス 虹 ヶ 丘  
虹ヶ丘短期入所生活介護事業所  
虹ヶ丘デイサービスセンター  
虹ヶ丘在宅介護支援センター  
虹ヶ丘ホームヘルパーステーション  
虹ヶ丘障害者短期入所事業所  
虹ヶ丘障害者居宅介護事業所  
ふれあいホーム 神宮寺

# 平成30年度 高齢者総合福祉施設虹ヶ丘 事業報告書

## (1) 総括

平成30年度は当施設の開設20周年を迎える節目となる年度であり、施設の歴史が刻み続けられるのと同時に建物設備や備品の劣化に対し、年々膨れ上がるコストをどのように管理し、買い替え、または修繕していくのかが問われている。今年度に行った大型修繕としては、電話交換機及びナースコール設備の更新とLANの敷設し直しによってネットワーク環境の安定化とともに通信費を減額することができた。電気代については年度末にデマンド管理装置を導入したことで、次年度以降の削減が期待される。また、厨房の排気ファンや自動ドアの開閉装置を更新したことで今後は不具合がなくなることが見込まれる。いくつかのパソコンやコピー機、公用車の一部、ガス供給会社、食材品の購入店等については、契約条件等の見直し、または買い取りを進めたことで次年度以降にかかる経費が大きく減額できるものと思われる。

間接業務についても大幅な見直しを行った。ちょうじゅを活用した口座振替処理への変更、国保連請求事務の見直し、施設通帳の一元化、ビジネスバンキングの活用拡大、会計ソフトの操作ルール見直し、職員向け文書配布方法の変更、勤怠管理方法の見直し、その他職員の立て替えを減らすために、生協や移動販売車の活用の拡大等を進めた。

サービス提供については、他施設への視察や施設間の相互評価の取り組みのなかで自施設の強みや改善を要する点について議論を重ね次年度以降の取り組みにつなげている。また、夜間帯の業務負担軽減を企図したシフト見直しを随時行い、ご利用者のニーズに沿ったサービス提供の合理化を図った。重点課題としていたICTについては、見守りセンサーやインカムのデモンストレーションを行いながら次年度以降も引き続き研究を進めていくこととしている。食事提供については職員体制上の理由で厨房内での集合調理となっていたが、デイサービスのみユニット調理を再開することができた。障害者制度における実地指導を受ける年であったため、ごく少数の方の受入れではあるが、地域に有する問題を総合的に受けとめることができる施設づくりを今後も目指していきたい。その他、在宅の被虐待者を緊急保護したり、土砂災害対応訓練や救急搬送訓練を初めて試みる等、施設内外のご利用者にとって安心して過ごしていただけるような取り組みを進めた。

地域に向けては、地域サロン活動、オープンデイ、老い支度の勉強会、そしてRUN伴(ラントモ)に参加する等して、啓蒙啓発活動を積極的に取り組むことができた。

人材難といわれる今日、職員の資質向上を施設一丸となって取り組み、ご利用者や地域の方の普通のあたりまえの暮らしの実現に向けて、これからも力を注いでいきたい。

## (2) 面会状況

月	人数
4	164
5	217
6	175
7	139
8	181
9	169
s	168
11	165
12	161
1	169
2	109
3	106
合計	1,923

## (3) 健康管理状況

内容	利用者(特養)		職員	
	月	人数	月	人数
血液検査	6	48	6	112
			11	36
尿検査			6	106
			11	34
心電図検査	6	48	6	112
			11	36
胸部レントゲン検査	6	48	6	112
インフルエンザ予防接種	11	41	11	66
	12	4	12	44

## (4) 年齢構成別荷重平均栄養価(所要量・摂取量)(4月分)

栄養項目	特養	ケア	所要量	単位
エネルギー	1,465	1,465	1,569	kcal
たんぱく質	55.3	55.3	58.0	g
脂質	36	36.1	42.0	g
カルシウム	437	437	660	mg

※ 食事摂取基準に基づき施設にあわせた所要量を算出

## (5) 全体行事

月/日	行 事 名	参加者数	月/日	行 事 名	参加者数
4/5	府知事・与謝野町長・町議選不在者投票	22	10/11	福祉の里合同草刈り	4
4/20	避難訓練	16	10/20	岩屋区合同避難訓練	90
4/28	加悦谷祭り見学	80	10/28	RUN伴	18
6/7	福祉の里合同草刈り	5	11/5	ふれあい(ウクレレサークルレファ)	40
6/8	ワークショップオオツキ移動販売	15	11/12	ワークショップオオツキ移動販売	18
6/15	避難訓練	15	12/14	セシリア会クリスマスコンサート	30
6/22	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	45	12/28	虹ヶ丘餅つき	75
7/20	避難訓練	14	1/1	新年祝賀式	90
8/17	土砂災害対応訓練	10	1/18	通報訓練	9
8/27	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	50	1/25	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	45
9/16	岩屋朝市・歌謡コンサート	45	2/1	虹ヶ丘開設20周年	90
9/22	虹ヶ丘敬老会	35	2/12	通報訓練	10
9/23	岩屋熱気球合同芋ほり	5	2/27	ふれあい(グリーンエコー)	35
10/2	障害実地指導	4	3/7	救急対応訓練(消防署来所)	12
10/6	虹ヶ丘まつり	150			

## (6) ボランティア受入れ状況

月	グループ名	参加者数	内 容	月	グループ名	参加者数	内 容
4	個人ボランティア	1	買物援助	10	個人ボランティア	1	買物援助
					習字ボランティア	1	習字
					きんもくせい	7	オカリナ演奏
					虹ヶ丘まつり	60	模擬店・ステージ
5	個人ボランティア	1	買物援助	11	個人ボランティア	1	買物援助
	天理教ボラ	4	車椅子清掃		ライリッシュ	5	オカリナ演奏
	個人ボランティア	2	歌謡ショー		ウクレレサークルレファ	5	ウクレレ
					コスモス会	8	清掃
					ワンスモア	3	昭和歌謡
6	個人ボランティア	1	買物援助	12	個人ボランティア	1	買物援助
	天理教ボラ	4	車椅子清掃		ライリッシュ	5	オカリナ演奏
	習字ボランティア	2	習字		丹後王国	2	サンタ扮装
	個人ボランティア	2	外食支援		天理教ボラ	3	車椅子清掃
	歌謡ほのぼの会	5	カラオケ		セシリア会	8	歌
					つつじ会	2	餅つき
7	個人ボランティア	1	買物援助	1	個人ボランティア	1	買物援助
	つつじ会	10	清掃ボラ		歌謡ほのぼの会	5	カラオケ
	個人ボランティア	1	手品				
	習字ボランティア	2	習字				
	個人ボランティア	1	買物援助		個人ボランティア	1	買物援助

8	個人ボランティア	2	外食支援	2	丹後王国	2	節分鬼扮装
	歌謡ほのぼの会	5	カラオケ		グリーンエコー	2	歌謡
	蕎麦打ち	2	蕎麦打ち				
9	個人ボランティア	1	買物援助	3	個人ボランティア	1	買物援助
	ワンスモア	2	昭和歌謡		ワンスモア	2	昭和歌謡
	習字ボランティア	2	習字		個人ボランティア	2	歌謡ショー
	天理教ボラ	4	車椅子清掃				

(7) 体験学習・研修受け入れ

月	内 容	実人数
5月	京都府介護等体験受入	1
6月	加悦中職場体験	1
	京都府介護等体験受入	1
7月	久美浜高校介護実習	2
	障害者職業訓練施設実習受入	6
8月	久美浜高校介護実習	2
	京都府介護等体験受入	2
	暁星高校初任者研修実習	1
9月	暁星高校初任者研修実習	1
10月	看護学校老人ホーム実習	6
	江陽中学校体験学習	16
11月	江陽中学校体験学習	6
12月	福祉即戦力実習受入	2
2月	京都府介護等体験受入	1

(8) 内部研修

月	内 容	講 師	人数
4月	平成30年度法人新人研修	理事長他	5
	虹ヶ丘新人研修①	施設長他	6
	基本介護技術【初級】	神内PT	12
	特養ケース検討	神内PT	5
5月	平成30年度コンプライアンス研修会①	施設長	41
	平成30年度コンプライアンス研修会②	施設長	37
	平成30年度コンプライアンス研修会③	施設長	25
	虹ヶ丘新人研修②	小藪・石本恭	8
	基本介護技術【トランスファー】	神内PT	16
	特養ケース検討	神内PT	7
6月	平成30年度第一回感染症勉強会	感染症委員会	18
	平成30年度普通救命講習①	宮津与謝消防組合	13
	虹ヶ丘新人研修③	佐々木範・宇野	9
	リハビリ勉強会【拘縮・緊張緩和について】	神内PT	19
	特養ケース検討	神内PT	3

7月	平成30年度普通救命講習②	宮津与謝消防組合	13
	平成30年度普通救命講習③	宮津与謝消防組合	13
	虹ヶ丘新人研修④	多賀野・山根	8
	特養ケース検討	神内PT	3
	デイサービスケース検討	神内PT	10
8月	平成30年度第一回リスクマネジメント勉強会	リスクマネジメント委員会	27
	特養ケース検討	神内PT	4
	リハビリ勉強会【ジョイントマットを利用した座面ベース作り】	神内PT	10
9月	心に寄り添うコミュニケーション研修報告会	福田・石河	13
	平成30年度第一回リスクマネジメント勉強会②	リスクマネジメント委員会	25
	虹ヶ丘新人研修⑤	深田・福田	10
	リハビリ勉強会【基本的介護技術】	神内PT	9
	特養ケース検討	神内PT	2
10月	職員の労災予防のための身体の動かし方	神内PT	38
	職員の労災予防のための身体の動かし方②	神内PT	30
11月	平成30年度虹ヶ丘役職者研修	施設長	23
	平成30年度第二回感染症勉強会	感染症委員会	39
	平成30年度第二回感染症勉強会②	感染症委員会	39
	デイサービスケース検討	神内PT	9
	特養ケース検討	神内PT	1
12月	リハビリケース検討	神内PT	5
	認知症勉強会 介護経験者に学ぶ	磯山氏	42
	平成30年度看取り勉強会①	看取り委員会	20
	平成30年度看取り勉強会②	看取り委員会	23
	特養ケース検討	神内PT	10
1月	ユニットIN北京都介護部門 相互評価報告会	宇野・小長谷	12
	ユニットIN北京都介護部門 相互評価報告会②	宇野・小長谷	9
	特養ケース検討	神内PT	1
	リハビリ勉強会【摂食・嚥下の勉強会】	神内PT	14
2月	平成30年度第二回リスクマネジメント勉強会	リスクマネジメント委員会	33
	平成30年度第二回リスクマネジメント勉強会②	リスクマネジメント委員会	38
	特養ケース検討	神内PT	6
	特養ケース検討	神内PT	3
3月	平成30年度認知症勉強会 認知症サポーター養成講座	桑原氏・中西氏	21
	ユニットIN北京都全体研修会 ユマニチュードについて	東京医療センター 本田氏他	14
	デイサービスリハビリ勉強会	神内PT	9
	リハビリ勉強会【肩こり腰痛を防ぐストレッチ体操】	神内PT	6

## (9)派遣研修

月	研 修 名	主 催 者	人数
4月	バリアフリー展2018	大阪府社会福祉協議会	4
	ケアマネ連絡会 バリアフリー展2018	大阪府社会福祉協議会	1
	舞鶴YMCA実習施設懇談会	舞鶴YMCA国際福祉専門学校	1
5月	平成30年度補助事業に係る公募説明会	京都産業エコ・エネルギー推進機構	1
	平成30年度福祉職のためのマナー研修	府社協	4
	丹後地域オレンジロードつなげ隊第1回圏域会議	丹後保健所	1
6月	平成30年度キャリアアップ研修(初任者)	府社協	1
	平成30年度 スーパーバイザー養成研修	府社協	1
	ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	1
	指定障害福祉サービス事業者等に係る集団指導	京都府	1
	YMCA就職説明会	舞鶴YMCA国際福祉専門学校	1
	平成30年度介護保険サービス事業者等に係る集団指導について	京都府	4
	ソフト食の時短メニューとスベラカーゼ応用編	中庄本店	2
	契約職員研修	福知山民間社会福祉施設連絡協議会	1
	平成30年度キャリアアップ研修(初任者)	地域密着サービス部会一泊研修会	1
	介護実習指導者担当者会議	京都府立久美浜高等学校	1
7月	京都府認知症介護実践者等養成基礎研修	府老協	3
	平成30年度 スーパーバイザー養成研修	府社協	1
	オレンジロードつなげ隊フォローアップ研修	丹後保健所	1
	防火管理新規講習	宮津与謝消防組合消防本部	2
	第三次産業における労働災害防止説明会	丹後労働基準監督署	1
	平成30年度ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	1
	佛教大学実習連絡研修会	佛教大学	1
	京都府看護協会北丹地区研修会	京都府看護師協会	2
	平成30年度 スーパーバイザー養成研修	府社協	1
8月	民間社会福祉施設長研修会	京都府	1
	平成30年度オレンジロードつなげ隊合同研修会	丹後保健所	1
	契約職員研修	福知山民間社会福祉施設連絡協議会	1
	平成30年度キャリアアップ研修(初任者)	府社協	1
	給食施設における災害時の食の備えについて	丹後保健所	1
	考課者トレーナー養成講座	(株)日本経営	1
	平成30年度京都府認知症介護実践者等養成研修	京都府	2
	平成30年度 スーパーバイザー養成研修	府社協	1
	平成30年度京都府認知症介護実践者等養成研修	京都府	2
9月	24Hシート研修	日本ユニットケア推進センター	1
	認知症介護実践リーダー研修	府老協	1
	平成30年度キャリアアップ研修(管理者)	府社協	1
	スーパーバイザー養成研修	府社協	1
	平成30年度 身体拘束ゼロ推進研究委員会基礎研修会	府老協	1
	認知症セミナー	与謝野町、丹後保健所	2

	平成30年 京都府介護支援専門員専門研修、実務経験者更新研修	京都府	1
	事例で学ぶ生活相談員支援力アップ基礎研修	お茶の水ケアサービス学院	2
	あいらぶかんご	北部医療センター	1
10月	社会福祉専門セミナー I	府社協	2
	認知症介護実践リーダー研修	府老協	1
	平成30年 京都府介護支援専門員専門研修、実務経験者更新研修	京都府	1
	食に携わる職員のためのユニットケア研修	日本ユニットケア推進センター	1
	看護職のためユニットケア研修	日本ユニットケア推進センター	1
	第87回老人福祉施設看護職・介護職等研修	京都福祉医療施設協議会	1
	安全運転管理者講習会	京都府公安委員会	1
	コミュニティワーカー実践研修会	府社協	1
	平成30年度老人福祉施設等職員研修	府社協	1
	第21回脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会	リハビリテーション講習会京都実行委員会	1
	平成30年度 主任介護支援専門員更新研修	京都府	1
	認知症介護実践リーダー研修	府老協	1
11月	認知症介護実践リーダー研修	府老協	1
	平成30年度京都府認知症介護実践者等養成研修	京都府	2
	施設における感染症対策のポイント	丹後保健所	1
	行動アセスメント研修セミナー	京都府介護支援専門員会	1
	感染症施設内集団発生時の対応の実際	丹後保健所	1
	「京都式」ケアプラン点検研修	京都府介護支援専門員会	1
	虐待の防止と施設、事業所職員の心のケアを考える研修会	京都府	1
	平成30年度 主任介護支援専門員更新研修	京都府	1
	外国人労働者についての視察研修	与謝野町	1
	労務管理説明会	丹後労働基準監督署	1
	コミュニティワーカー実践研修会	府社協	1
	年末調整説明会	宮津税務署	4
	平成30年度京都府福祉避難サポートリーダー養成研修	丹後保健所	1
12月	オムツ外し学会	生活とリハビリ研究所	1
	看取りカフェ研修会	与謝野町地域包括支援センター	2
	平成30年度 主任介護支援専門員更新研修	京都府	1
	神の園視察研修		6
	京都府介護支援専門員実務者研修における実習受入協力事業所指導者講習会	京都府	2
	認知症患者の入退院における医療と介護連携強化のために	私立病院協会	1
	身体拘束推進研究委員会リーダー研修	府老協	1
	認知症介護実践リーダー研修	府老協	1
1月	口から食べる 食形態の選択・変更のタイミングと食事ケア	全国高齢者施設看護協会	1
	平成30年度 主任介護支援専門員更新研修	京都府	1
	福祉職場組織力向上セミナー	府社協	2
	中堅職員向OJT推進能力向上研修	福知山民間社会福祉施設連絡協議会	3
	介護事業所向け大規模災害対策セミナー	寿保健サービス合同会社トータルサポート	1
2月	外国人介護士受け入れスタッフ研修	福知山民間社会福祉施設連絡協議会	1

	平成30年度社会福祉専門セミナーⅡ	府社協	1
	社会福祉士実習指導者講習会	(有)ホットラインワールド	1
	平成30年度 主任介護支援専門員更新研修	京都府	1
	若年性認知症支援研修会	丹後保健所	2
	シルバーハラスメントから自分たちの介護・支援を考える	府老協	1
	若年性認知症支援研修会	北部医療センター・保健所	1
	アセスメント講座	丹後アセスメントを勉強する会	1
3月	下剤に頼りすぎない排便ケアin京都	太陽化学(株)メディケアグループ	3
	指定施設における不在者投票事務に関する説明会	京都府選挙管理委員会	1
	GPS活用に関する研修会	丹後保健所	1
	難病支援従事者基礎研修会	丹後保健所	4
	ユニットIN北京都小規模多機能部門	ユニットIN北京都	1

### (10) 諸会議参加状況

会議名	主催者	延べ日数
ユニットIN北京都介護部門会議	ユニットIN北京都	10
与謝郡小規模多機能介護士交流会	与謝郡小規模多機能連絡会	5
与謝郡小規模連絡会議	与謝郡小規模多機能連絡会	5
与謝野町福祉事業所連絡会	与謝野町	1
認知症DVDプロジェクト会議	与謝野町包括	3
ユニットIN北京都小多機部門	ユニットIN北京都	6
キャラバンメイトコアメンバー会議	与謝野町福祉課	3
認知症カフェ定例会	与謝野町包括	4
丹後地域オレンジロードつなげ隊圏域会議	丹後保健所	1
ユニットIN北京都施設長研修	ユニットIN北京都	1
ヘルパー交流会	与謝郡ヘルパー交流会	1
ユニットIN北京都食事部門会議	ユニットIN北京都	2
与謝野町地域ケア会議	与謝野町包括	3
RUN伴実行委員会	2018RUN伴実行委員会	4
軽費老人ホーム北部ブロック生活相談員研修会	府老協	2
ユニットIN北京都ケアマネ部門会議	ユニットIN北京都	5
丹後保健所管内栄養士研究役員会	丹後保健所	4
ユニットIN北京都看護部門会議	ユニットIN北京都	1
与謝郡ケアマネ連絡会	与謝野町包括	2
RUN伴世話人会議	2018RUN伴実行委員会	3
RUN伴事前説明会	2018RUN伴実行委員会	1
丹後地域認知症カフェ連絡会	丹後保健所	1
府老協丹後ブロック施設長会	府老協	1
ユニットIN北京都デイサービス会議	ユニットIN北京都	3
与謝野町ボランティア連絡会議	与謝野町社協	1



### (11) 高齢者介護者教室

月 日	内 容	参加者数	会 場
7月11日	支援センター家族交流会	7名	虹ヶ丘
8月26日	虹ヶ丘老い支度の勉強会(施設の種類/食事)	10名	虹ヶ丘
10月14日	オープンデイ	20名	虹ヶ丘
10月15日	支援センター家族交流会	4名	但東町安国寺
11月6日	神宮寺老い支度の勉強会(聞こえ方の勉強会)	10名	下地会館
3月10日	オープンデイ	10名	虹ヶ丘

### (12) 事故状況

事故の総数は29年度の808件から794件へ微減したものの、受診を伴う事故は7件から15件へと倍増している。事故の内容を振り返ると、転倒や転落に伴う事例が最も多く報告されており、介助中に起きたものも数件含まれる。15件の内訳としては、骨折事象が11件。打撲や創傷といった外傷を伴うものが4件となっている。部署別では、特養が9件、ショートが3件、神宮寺が3件となっている。事故の要因として考えられることは、歩行できる方の割合が増えてきていること。転倒や転落のリスクを勘案し、ベッド下にマットを敷いたり、センサーマットなども活用しながら事故防止対策にあたっているが、ご利用者の行動に職員が対応しきれていない現状も見られる。また、事故の発生時間においても、夕方から夜間にかけての事故が多く、職員体制の手薄な時間帯に大きな事故が起きている。事故リスクの高いご利用者の把握と、事故防止対策について今後も検討を重ね、重大事故が減少するように今後も取り組んでいく必要性を感じている。

その他の事故については、介助中の事故や原因不明の内出血等の報告が366件。次いで転倒・転落事故が159件と多く、昨年度も報告の多かった薬関係の事故(飲み忘れやセット忘れ等)107件報告されている。全ての事故を防ぐことは難しいが、常々報告している通り、職員のミスや確認不足による事故を減らすよう注意喚起し、また対応マニュアルに沿っての援助を徹底しながら、全体の事故防止に努めていきたい。

総件数	転倒・転落	介助中事故	誤嚥・誤飲	その他	内受診件数
794	159	83	2	550	15

### (13) 満足度アンケート

回収率については、前年度の38.8%に比べわずかに上がったものの、一昨年度の46.7%から比べると大幅に低下したままとなっている。満足度は「満足」と「やや満足」を足して95.0%と昨年度の93.1%から微増となっているが、「やや不満」と答えた方が2件みられた。あらゆる面からのサービス改善を行うためにもできるだけ多くの方からご意見を頂戴できるような工夫を検討していきたい。

意見・要望については、「何かお疲れのように思います」、「良い人とあの人はガサイでいらんという人があるみたいです」、「もう少し希望を聞いてもらえないものか・・・とわがままですが」といった、サービスマナーに関わる問題や、「浴槽に表皮が浮いて大変不愉快です」、「ショートステイを利用させていただいている時、ちょっと退屈なようです(仕方ないですが・・・)」、「帰宅する時間が午後3時台とやや早いので、できれば午後4時半～5時くらいだとありがたい」、「施設利用者の間での人間関係などが、やっかいたと言っておりました」等、入居者・利用者の暮らしの質に直接関係する項目への要望も複数頂戴した。また、「風呂から見える中庭にもう少し花が植えて欲しい」、「(面会時に)小さい丸イス等があれば良いと思います」といった環境面への希望の声も頂戴した。感謝や労いの言葉もたくさん頂戴し、人員体制が十分に整わないなかで、多様化するニーズに対応できるスタッフの資質向上が継続した課題となっている。

① 配布数と回収率

	配布数	回答数	回収率
特養	49	25	51.0%
ケアハウス	28	13	46.4%
在宅サービス	149	53	35.6%
神宮寺	25	8	32.0%
合計	251	99	39.4%

② サービスごとの満足度

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
特養	20	4	0	0	1	25
ケアハウス	7	5	0	0	1	13
在宅サービス	37	13	2	0	1	53
神宮寺	5	3	0	0	0	8
合計	69	25	2	0	3	99
回答構成率	69.7%	25.3%	2.0%	0.0%	3.0%	

# 平成30年度 特別養護老人ホーム虹ヶ丘 事業報告書

## 1 総括

今年度は一昨年度から継続課題としてユニットを超えた相互の支援体制について議論し、ユニット職員だけでは対応できない状況を改善すべく、グループ間で協力体制を確立した支援が行えるようソフト面とハード面の見直しと調整を行ってきた。特にAグループ(東1・西2)では、グループ合同化を目的とした喫茶室の共有スペースを随時活用し、レクリエーションや飲食、談話など娯楽の機会をもった。入居者の状態像により夜間帯の対応が厳しい状況が続いたため、負担軽減を目的とした会議を重ね、勤務シフトの見直しや排泄介助等、支援方法の見直しを行った。

入居者においては、今年度は、13名の方が退所された。1月には7名の方が亡くなられた。いずれの方も高齢であったり、体調面で不安定な方ではあった。亡くなられた方のうち6名が施設で看取りをさせていただいた。看取りケアを行うにあたり、ご本人やご家族の意向を確認し、各専門職間で情報を共有しながら入居者と寄り添うことを第一に、できることは何かを常に意識した支援に努めた。また『施設で看取ること、看取りへの流れ』をテーマに看取り勉強会を行い、日々の関わりの重要性を確認しあった。

次年度も、普通のあたりまえの暮らしの実現に向けて、職員の育成と入居者のニーズに対応した業務体制のあり方について検討を重ねていきたい。

## 2 入退所状況

《月別入退所状況》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者数	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	2	2	10
退所者数	1	0	1	1	0	1	1	0	0	7	0	1	13
月末在籍者数	49	50	49	49	49	49	49	49	49	43	45	46	

## 3 入所者状況

年度末時点では在籍者が46名と4床の空床となった。1月に7名の退所が続き、新入所に向けて進めるも、様々な事情で円滑に入所に繋げれないという状態であった。入居者の平均要介護度は3.78と昨年度の3.90と若干下がった。入居期間は1年～3年未満という方が26.1%と最も多く、1年未満という方も17.4%を占めており、10年以上入居されている方は5名と昨年度と同様横ばい状態である。

今年度はインフルエンザや感染性胃腸炎等の罹患もなく経過した。通院に関しては、バルーンカテーテルのトラブルにより、通院によるフォローが必要になり泌尿器科受診日数が増えた。また誤嚥性肺炎で入退院され、看取りに入られるケースや、入院されそのまま退所されるケースもあった。全体的には入院は減少したが、入居者の高齢化が進んでいく中、今後も小さな状態変化を見過ごし重篤化にならないように、多職種と連携強化をしていきたい。

### (1) 介護度別在籍者数

介護度別	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0	0	0	0.0%
要介護2	0	0	0	0.0%
要介護3	3	16	19	41.3%
要介護4	4	14	18	39.1%
要介護5	0	9	9	19.6%
合計	7	39	46	100.0%
平均要介護度	3.57	3.82	3.78	

### (2) 年齢別状況

年齢	男性	女性	合計
-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-79	1	3	4
80-89	4	21	25
90-99	2	14	16
100-	0	1	1
合計	7	39	46
平均年齢	88.0	88.0	88.0
最高年齢	93	104	
最低年齢	79	73	

### (3) 出身地別

市町別	男性	女性	合計
与謝野町	7	33	40
伊根町	0	2	2
宮津市	0	1	1
その他	0	3	3
合計	7	39	46

### (4) 入所期間割合

入所期間	人数	割合
10年以上	5	10.9%
5年以上～10年未満	11	23.9%
3年以上～5年未満	10	21.7%
1年以上～3年未満	12	26.1%
1年未満	8	17.4%
合計	46	100.0%

#### 4 入所者の健康状況

##### (1) 利用者の診察状況

診察別	入院		通院	診察別	入院		通院
	人数	日数	日数		人数	日数	日数
内科系疾患	7	15	17	耳鼻科系疾患	0	0	0
外科系疾患	0	0	7	皮膚科系疾患	0	0	78
精神科系疾患	0	0	19	泌尿器科系疾患	2	41	37
婦人科系疾患	0	0	2	整形外科系疾患	1	13	32
眼科系疾患	1	4	22	歯科系疾患	1	17	106
合 計					12	90	320

##### (2) 嘱託医来診状況

診療所別	来診実日数	1ヶ月当りの平均日数
伊藤内科医院	28	2.33
宮津由良診療所	28	2.33

#### 5 サービス状況

単調な生活になりやすいため、身体的機能低下防止や気分転換の場となるよう毎日午前中にテレビ体操を行っている。各自体調に応じて参加していただき、ユニットを超えた交流の場にもなっている。また月1回虹の会での取り組みや月2回の喫茶も同様に交流の場となり、また職員も全体での協力体制で臨み、入居者職員のふれあいの機会をもっている。ケアプランに沿って個別ケアはもとより、ユニット及びグループ単位での食事レクやカラオケや外出、外食等を実施した。また今年度も習字や歌謡、掃除などボランティアの方にお世話になり、生活に潤いを得た。

##### (1) 部署・ユニット行事

月/日	行 事 名	参加者数	月/日	行 事 名	参加者数
4/3	Aグループ花見ドライブ	8	/23	さつま芋掘り(熱気球)	3
/18	喫茶	45	10/3	喫茶	45
/25	Aグループ合同お茶会	20	/6	虹ヶ丘祭り	45
/26	東2外食(スシロー)	2	/10	Aグループドライブ(ウイル)	40
5/2	喫茶	45	/17	与謝野町敬老会	7
/4	Aグループ三河内祭り見学	3	/24	運動会	40
/6	Bグループドライブ	4	/29	東2食事レク(釜めし)	14
/10	西3ドライブ&買い物	2	/31	西3食事レク(カレー&ポテトサラダ)	40
/13	Bグループドライブ(魚っ知館)	5	11/6	東2食事レク	14
/16	喫茶	45	/7	喫茶	45
/19	さつま芋苗植え(熱気球)	3	/21	虹の会(お茶会)	45
/24	西3食事レク(お好み焼き)	12	/27	Aグループ外食スシロー	45
/28	虹の会(卓球バレー大会)	30	12/5	喫茶	45
/29	東1食事レク(カレーパーティー)	10	/14	セシリア会クリスマスコンサート	45
6/6	喫茶	45	/19	Aグループクリスマス会	24
/22	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	25	/21	Bグループクリスマス会	26
/27	東2外出	2	/28	もちつき大会	40

/28	西2食事レク	14	1/5	Bグループ初詣	6
7/4	喫茶	45	/9	虹の会初詣	13
/18	喫茶	45	/14	喫茶	45
6/6	喫茶	45	/20	西3外出(お菓子の館)	3
/22	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	25	/28	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	25
/27	東2外出	2	/31	鬼が来るぞー(丹後王国「食のみやこ」)	25
/28	西2食事レク	14	2/3	Aグループ節分ロング巻き寿司大会	25
8/2	虹の会(流しそうめん)	40	/6	喫茶	45
/14	盆供養	25	/20	喫茶	45
/22	西2食事レク(そうめん流し)	14	/21	西3外出(スシロー)	3
/23	東2食事レク(お好み焼き&焼き肉)	14	/21	西3外出(スシロー)	3
/25	西2食事レク(カレー&花火大会)	14	3/6	虹の会(喫茶&ひな祭り)	45
/27	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	25	/8	東1食事レク(カレー)	10
9/5	喫茶	45	/9	Aグループドライブ	9
/7	Bグループ花火大会	25	/21	20周年記念行事(喫茶)	45
/16	虹の会(お菓子の館)	10	/8	東1食事レク(カレー)	10
/19	喫茶	45	/9	Aグループドライブ	9
/22	敬老祝賀式	40	/21	20周年記念行事(喫茶)	45

# 平成30年度 ケアハウス虹ヶ丘 事業報告書

## 1 総括

今年度は入居者は1名、退去者は2名となり、年度末時点で空室が1室できている。退去の理由は、1名は精神疾患のため家族との同居が難しいことが理由として入居されたが、病状が不安定となってからは入院治療を要することとなったため、入居されて1年をたらずにそのまま退去となった。もう1名は、精神科病院を退院後、当時から軽度の認知症の症状がみられる状態での入居であった。徐々に排泄の失敗が多くなり、他入居者から苦情も聞かれるようになったため、1年4か月で退去し、ショートステイを利用しながら施設入所を待つ状態となられた。入居者1名は、京都市内から実姉妹に近いこの地への転居を希望され入居された。

生活の状況では、整形外科、口腔外科、内科等の病状が不安定な方、認知症により水分補給、服薬など介助、声掛けが必要になった方、また、日中からの飲酒があり生活が不規則になってきた方がおられる。現在の生活が維持できるようにその都度現状を家族やケアマネジャーに報告、相談し、家族の協力の下、介護保険サービスとの連携を図りながら必要な援助と見守りを行い、どうか生活を継続されている方が多い。また、余暇活動としては、毎日の体操と不定期のレクリエーション、食事会などを行っているが、今年は外食の希望者が少なく、秋以降は実施できていない。心身ともに安定した状態で過ごしていただくために気分転換の機会として施設内での催しものなど適宜企画していきたい。今後もきめ細かな状態観察や、家族、主治医、関係機関との連携を行い、安定した体調でその人らしく生活できるよう支援していきたい。

## 2 入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
退居者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
月末在籍者数	14	14	14	14	14	14	13	14	14	14	13	13	

## 3 入居者状況

### (1) 年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
－59	0	0	0
60－69	0	0	0
70－79	0	0	0
80－89	4	3	7
90－99	0	6	6
100－	0	0	0
合計	4	9	13
平均年齢	84.5	90.3	86.4
最高年齢	86	97	
最低年齢	81	84	

### (2) 出身地別状況

出身地	男性	女性	合計
与謝野町	3	5	8
伊根町	1	0	1
宮津市	0	0	0
その他	0	4	4
合計	4	9	13

#### 4 身体状況

(1)要介護度別 平均 1.1

介護度	男性	女性	合計	構成比
認定無	0	0	0	0%
要支援1	2	1	3	23%
要支援2	1	2	3	23%
要介護1	0	4	4	31%
要介護2	1	2	3	23%
要介護3	0	0	0	0%
要介護4	0	0	0	0%
要介護5	0	0	0	0%
合計	4	9	13	100%

(2)在宅サービス利用状況

利用種別	実人員	対入居者割合	備考
訪問介護	9	60.0%	
訪問看護	3	20.0%	
短期入所	0	0.0%	
通所介護	5	33.3%	
通所リハ	0	0.0%	

#### 5 行事等の実施状況

(1) 行事

月	行事名
4月	なし
5月	歌のボランティア
6月	外食
7月	手品
8月	外食
9月	外食 蕎麦打ち
10月	なし
11月	外食
12月	なし
1月	なし
2月	なし
3月	歌のボランティア 蕎麦打ち

月例行事 買物サービス(毎週)

(2) クラブ活動

月	(クラブ名)	(クラブ名)
4月	ズンドコ体操	
5月	ズンドコ体操	
6月	ズンドコ体操	
7月	ズンドコ体操	
8月	ズンドコ体操	
9月	ズンドコ体操	
10月	ズンドコ体操	
11月	ズンドコ体操	
12月	ズンドコ体操	
1月	ズンドコ体操	
2月	ズンドコ体操	
3月	ズンドコ体操	

# 平成30年度 虹ヶ丘ショートステイ 事業報告書

## 1 総括

今年度は一年を通して利用希望が多く、実人数で80名から100名弱のご利用者に利用していただいた。これは近隣のショートステイ事業者が職員体制から通常の運営を縮小したことが大きく影響していると思われる。在宅介護を継続されるうえでショートステイをどれだけ利用できるかという影響は大きく、限られたベッドを少しでも多くのご利用者が利用していただけるよう配慮をしてきた。そのため、希望に沿ったスケジュール調整にも多くの時間を費やさなければならなかった。

対象者の特徴として、虐待による措置利用や、独居で在宅生活が困難になった方の長期的な利用もあり、利用期間が長めのご利用者には、長期入所棟の居室を効率的に利用できるように努めた。また、毎月新規のご利用者も多く、初めて利用される際の不安な気持ちに配慮するよう努めたが、一度の利用だけで次に繋がらない方も数名あった。障害者総合支援法に基づく受入れとして新たに2名の受入れや、難病の方も2名利用されるようになり、医療的な知識の習得をはじめ、関係機関と連携し対応方法など会議等で話し合いを重ねる等、あらゆる方の満足度を高める支援に努めた。重度の方の対応に時間を割かれる状況ではあったが、少しでもショートステイを楽しんでもらえるように、毎月のドライブや食事レク、日々のおやつ作り、季節の雰囲気を感じてもらえるように壁飾りを利用者の方と一緒に作成するなど限られた時間の中で工夫を重ね、ご利用者に喜んでもらうことができた。

今後も柔軟な受け入れ体制とともに、関係機関との連携のもと安心して在宅生活を続けられるようにご利用者へ適切なケアを提供していきたい。

## 2 利用状況

### (1) 町別利用状況

月	与謝野町	伊根町	宮津市	その他	合計	1日平均
4月	563	0	0	0	563	18.8
5月	549	0	0	0	549	17.7
6月	509	0	0	0	509	17.0
7月	529	0	4	0	533	17.2
8月	558	0	4	0	562	18.1
9月	544	0	6	0	550	18.3
10月	551	0	6	0	557	18.0
11月	562	0	8	0	570	19.0
12月	588	0	8	0	596	19.2
1月	548	0	6	0	554	17.9
2月	520	0	9	0	529	18.9
3月	556	0	5	0	561	18.1
合計	6,577	0	56	0	6,633	18.2



## (2)実人数・受入状況他

月	実人数	介護	予防	障害	1人当り平均利用日数
4月	76	73	2	1	7.4
5月	78	76	1	1	7.0
6月	74	73	0	1	6.9
7月	72	70	0	2	7.4
8月	83	81	0	2	6.8
9月	84	81	1	2	6.5
10月	86	81	2	3	6.5
11月	85	80	2	3	6.7
12月	97	91	3	3	6.1
1月	86	79	4	3	6.4
2月	79	73	3	3	6.7
3月	84	80	2	2	6.7
平均	82.0	78.2	1.7	2.2	6.8

## (3)年齢別状況 3月度

年齢	男性	女性	合計
-64	0	3	3
65-69	1	1	2
70-79	2	6	8
80-89	6	19	25
90-99	4	40	44
100-	0	2	2
合計	13	71	84
平均年齢	85.2	88.2	87.7
最高年齢	98	106	
最低年齢	69	48	

## (4)要介護度別状況(3月度)

介護度別 平均 2.8

介護度	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0%
要支援2	0	2	2	2.4%
要介護1	0	9	9	11.0%
要介護2	5	20	25	30.5%
要介護3	6	19	25	30.5%
要介護4	1	7	8	9.8%
要介護5	1	12	13	15.9%
合計	13	69	82	100.0%

障がい区分別 平均 5.5

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	0	0	0.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	1	1	50.0%
区分6	0	1	1	50.0%
合計	0	2	2	100.0%

# 平成30年度 虹ヶ丘デイサービスセンター 事業報告書

## 1 総括

平成30年度は、複数回利用されている方が新たに老健施設やショートステイを利用開始されたことや入院されたことで登録人数としては、前年度より年間実人数合計は要介護者で-9名、要支援者-15名と減少したが、年間延利用人数は要介護者+79人、要支援者+9人と計88人増加した。介護度別利用状況では、前年度は要支援者が全体の16.7%を占めているのに対し、今年度は15.8%、中重度のご利用者(要介護3~5)が前年度は全体の23.6%に対し、今年度は34.3%と増加している。これは中重度ケア体制加算を算定し、中重度者を積極的、かつ柔軟に受け入れてきたためと思われる。また、今年度より認知症ケア加算を算定し、認知症のあるご利用者の受け入れも積極的に行ってきた。重度認知症のご利用者については、ショートステイや老健施設、認知症対応型のデイサービスを利用される場合も多く、一定期間休止されることにより稼働状況は不安定になる側面もあるが、在宅生活を望まれるご利用者やご家族のサポートができるよう柔軟なサービス提供に努めてきた。

今年度は地域との繋がりに力を入れ、積極的なボランティアの受け入れや交流を行なうことができた。今年度初めての取り組みとして、デイサービス休業日にオープンデイを開催し、地域の方に施設へ来ていただき、デイサービスを身近に感じていただく機会を設けた。

今後も施設と地域の方々がお互いの強みを活かしながら共にサポートし合える関係を築いていきたい。加えて、認知症ケアの知識や理解を深め、個々のご利用者にとって適切な質の高いサービスの提供ができるように職員の研鑽を一層進め、ご利用者が住み慣れた地域での生活を安心して送ることができるよう支援していきたい。

## 2 サービス実績の状況

	開所 日数	実人数	介護	総合 事業・ 予防	障がい	延利用 人数	介護	総合 事業・ 予防	障がい	1日 平均	介護	総合 事業・ 予防	障がい
4月	25	73	61	12	0	504	418	86	0	20.2	16.7	3.4	0.0
5月	27	78	66	12	0	538	469	69	0	19.9	17.4	2.6	0.0
6月	26	76	65	11	0	510	447	63	0	19.6	17.2	2.4	0.0
7月	26	71	60	11	0	468	410	58	0	18.0	15.8	2.2	0.0
8月	27	70	59	11	0	492	429	63	0	18.2	15.9	2.3	0.0
9月	25	68	56	12	0	454	384	70	0	18.2	15.4	2.8	0.0
10月	27	67	56	11	0	502	431	71	0	18.6	16.0	2.6	0.0
11月	26	67	57	10	0	481	415	66	0	18.5	16.0	2.5	0.0
12月	25	67	57	10	0	506	420	86	0	20.2	16.8	3.4	0.0
1月	27	67	57	10	0	513	424	89	0	19.0	15.7	3.3	0.0
2月	24	68	58	10	0	469	408	61	0	19.5	17.0	2.5	0.0
3月	26	70	59	11	0	496	430	66	0	19.1	16.5	2.5	0.0
合 計	311	842	711	131	0	5,933	5,085	848	0	19.1	16.4	2.7	0.0

### 3 介護度別利用状況

(1)介護度別 平均 2.1

項目	男性	女性	合計	構成比
要支援1	1	1	2	2.9%
要支援2	2	7	9	12.9%
要介護1	2	13	15	21.4%
要介護2	3	17	20	28.6%
要介護3	5	11	16	22.9%
要介護4	0	3	3	4.3%
要介護5	2	3	5	7.1%
合計	15	55	70	100%

(2)障がい区分別 平均 —

項目	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	—
区分2	0	0	0	—
区分3	0	0	0	—
区分4	0	0	0	—
区分5	0	0	0	—
区分6	0	0	0	—
合計	0	0	0	—

### 4 年齢構成別登録状況

(1)介護サービス

	男性	女性	合計
—64	0	1	1
65—69	1	1	2
70—79	3	1	4
80—89	5	20	25
90—99	3	23	26
100—	0	1	1
合計	12	47	59
平均年齢	83.4	88.8	87.7
最高年齢	98	100	
最低年齢	69	48	

(2)予防・総合事業サービス

	男性	女性	合計
—64	0	0	0
65—69	0	0	0
70—79	0	0	0
80—89	1	3	4
90—99	2	5	7
100—	0	0	0
合計	3	8	11
平均年齢	91.0	89.5	89.9
最高年齢	96	97	
最低年齢	81	82	

(3)障がいサービス

	男性	女性	合計
—64	0	0	0
65—69	0	0	0
70—79	0	0	0
80—89	0	0	0
90—99	0	0	0
100—	0	0	0
合計	0	0	0
平均年齢	—	—	—
最高年齢	—	—	
最低年齢	—	—	

## 5 デイサービス行事

月	行事名
4月	岩屋カフェ、買い物レク、花見ドライブ、食レク(たけのこご飯)
5月	岩屋カフェ、買い物レク、ドライブ週間(一字観公園)
6月	岩屋カフェ、買い物レク、運動会(3日間)、食レク(ちらし寿司)、お茶会
7月	岩屋カフェ、買い物レク、七夕飾り、あわしま祭、リハビリ勉強会
8月	岩屋カフェ、買い物レク、夏祭り(3日間)、ボランティア「きんもくせい」(7名)オカリナ演奏
9月	敬老週間、買い物レク、外食レク(スシロー)
10月	オープンデイ(ボランティア:サポートい輪や)、食事レク(栗ごはん、芋ごはん、炊き込みごはん) 買い物レク、外出レク(天橋立)、外食レク(スシロー)、ボランティア「ワンスモア」(3名)昭和歌謡
11月	虹ヶ丘文化祭、岩屋地区文化祭、ウイル文化祭、買い物レク、岩屋カフェ、リハビリ勉強会 ボランティア「ライリッシュ」(5名)オカリナ演奏、「ワンスモア」(3名)昭和歌謡
12月	クリスマス会(3日間)、ボランティア「ライリッシュ」(5名)オカリナ演奏 「あじわいの郷」(2名)サンタクロース
1月	初詣ドライブ、食事レク(手打ちそば)
2月	食事レク(小豆おこわ)、節分、ボランティア(丹後王国「食のみやこ」)(2名)鬼
3月	オープンデイ、リハビリ勉強会

# 平成30年度 虹ヶ丘在宅介護支援センター 事業報告書

## 1 総括

今年度の居宅介護支援件数は1367件と昨年に比べて88件と大幅に増加し、月平均担当件数は約114件となった。また、要支援の方も必要に応じて地域包括支援センターからの委託という形で2件受けている。件数の増加については、経営上の理由もあるが、地域に密着した相談支援拠点として、与謝野町内の介護支援専門員が不足傾向にある中で、少しでも要介護者と家族の支えになれるように、4名の介護支援専門員が業務の合理化を進めながらチームとして協力し合えたことが件数を増やしていくことにつながり、新規利用者44名を受け入れることができたものと思われる。

医療機関との連携強化の面では、今年度はターミナルケアとしての末期がんの方の受け入れはなかったが、老衰などによるターミナルケアや体調が安定せず入退院を繰り返す方、難病の方について、医師・訪問看護師・病院スタッフ、保健所などとの連携を図ることができたのではないかと見える。ケースによって、終結後に支援経過の振り返りを行ない、チームで知識や情報などを共有し、今後の支援につなげられるように努めた。

家族への支援として、年に2回の介護者家族会を開催することができ、参加者は例年並みで数名ではあるが、新たに参加されるご家族もあり、在宅介護の大変さを共有する場、ピアカウンセリングの場となり、とても好評で有意義な取り組みを行うことができた。今後も創意工夫をしながら継続していきたい。

来年度は、“地域に密着した相談センター”、“住み慣れた地域で最期まで安心して過ごせるまちづくり”を目指し、現状にとどまらずスキルの向上や自己研鑽の機会を個々が意識し、チームケアとして支援センター会議を有効に活用していくことで、安心して居宅支援を任せられる事業所となるように努めたい。

## 2 事業実施状況

### (1) 受入実績

	居宅介護支援									介護予防支援		
	件数	初回加算	特定事業所加算(Ⅱ)	入院時情報連携加算Ⅰ	入院時情報連携加算Ⅱ	退院退所加算	小規模多機能型連携加算	緊急時カンファレンス加算	ターミナルケアマネジメント加算	件数	初回加算	小規模多機能型連携加算
4月	112	4	112	3	1	5	0	0	0	1	0	0
5月	112	3	112	4	1	2	0	0	0	2	1	0
6月	108	2	108	1	1	0	0	0	0	2	0	0
7月	110	6	110	1	0	3	0	0	0	2	0	0
8月	114	4	114	2	1	3	0	0	0	2	0	0
9月	113	3	113	0	0	3	0	0	0	2	0	0
10月	116	7	116	3	0	3	0	0	0	2	0	0
11月	116	4	116	4	1	1	0	0	0	2	0	0
12月	118	2	118	6	0	4	0	0	0	2	0	0
1月	119	5	119	3	0	3	0	0	0	2	0	0
2月	114	3	114	5	0	2	0	0	0	2	0	0
3月	115	4	115	10	0	5	0	0	0	2	0	0
合計	1,367	47	1,367	42	5	34	0	0	0	23	1	0

(2) 相談内容別・経路別実績

相談区分	件数	実人数	相談区分	件数	実人数
介護保険関係	102	63	他サービス利用	52	10
医療健康相談	1,962	168	介護保険以外のサービス	15	12
デイサービス利用	1,236	138	認知症の介護に関する相談	218	49
ホームヘルプ利用	596	76	介護に係る相談	92	37
訪問入浴利用	54	12	担当者会議	207	115
ショートステイ利用	564	74	モニタリング	1,454	156
訪問看護利用	454	52	虐待に関する相談	3	3
デイケア利用	2	1	権利擁護に係る相談	8	2
施設入所関係	205	56	その他	473	106
住宅改修・福祉用具	867	127	合計	8,564	1,257

区分	電話	来所	訪問	文書	FAX	メール	その他	合計
本人	617	19	2,024	48	4	2	175	2,889
家族	887	47	1,581	3	4	6	130	2,658
関係機関	936	36	923	92	13	4	272	2,276
相談協力員	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	21	3	15	0	0	0	6	45
合計	2,461	105	4,543	143	21	12	583	7,868

# 平成30年度 虹ヶ丘ホームヘルパーステーション 事業報告書

## 1 総括

平成30年度の上半期は、新規利用者の受け入れ、訪問件数ともに昨年度と変わらない実績を維持していたが、下半期は職員の退職や異動により体制が整いにくくなり、新規の受け入れや回数増にも応じることが難しくなり訪問件数は減少した。特に1月と2月は老人保健施設に入所されるご利用者が重なり、減少幅が大きかった。そのような中、昨年度から訪問している難病(ALS)で状態変化の激しいご利用者に、訪問看護等の医療職と連携し、思いに寄り添うことを大切にしながら支援チームの一員として関わることができた。身体機能や体調の変化に対する観察と、不安や葛藤に対しては受容と共感に努め、訪問時間や支援内容を臨機応変に対応しながら最期まで自宅に赴いて支援を続けることができた。時間の限られたご利用者やご家族の思いに寄り添い、訪問介護員としての役割を果たせたことと、多職種連携により支援の幅が広がったこと等、学びの多い事例であった。障がい者自立支援法におけるご利用者は昨年度からの継続で4名にサービス提供を行なった。それぞれに体調、様子、環境等、少しずつ変化してこられており、些細な「いつもの違い」を見逃さず、他の関係事業所と連携を取りながら支援することができた。

ヘルパー研修では、今年度も地域リハビリテーション支援センター(丹後中央病院)の研修や、他部署のコミュニケーション研修報告を聞く機会、また新人職員がショートステイでの入浴介助、排泄介助など基本介助の研修を行ったりと併設事業所ならではの研修にも取り組んだ。また、ご利用者、ご家族、サービス事業所の理解と協力のもとで訪問入浴サービスの利用を見学させていただいた。他のサービスを見せていただくことで自分達の介護を見直し、今後にかしていける部分が多くあった。また、今年度は「人材育成」という大きな課題に直面した年でもあった。現状の体制では十分にご利用者、ご家族の思いに寄り添い、支えていくことは難しい面もあるが、今後、総合福祉施設に併設されている強みを活かし、他部署の協力も得ながら「人を育てる」ということも勉強していきたい。そして職員同士お互いを認め合い意見が言える環境づくりに努め、やりがいのある事業所になれるように取り組み、ご利用者が安心して自分らしく在宅での生活が送れるよう支援していきたい。

## 2 利用者状況

(1)要介護度別 3月度 平均 2.0

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0.0%
要支援2	2	2	4	13.8%
要介護1	2	7	9	31.0%
要介護2	2	7	9	31.0%
要介護3	2	1	3	10.3%
要介護4	0	1	1	3.4%
要介護5	2	1	3	10.3%
非該当	0	0	0	0.0%
合計	10	19	29	100.0%

(2)障がい区分別 3月度 平均 3.5

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	3	0	3	75.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	1	0	1	25.0%
区分6	0	0	0	0.0%
合計	4	0	4	100.0%

## (3) 年齢別 3月度

	男性	女性	合計
－59	3	0	3
60－64	1	0	1
65－69	1	0	1
70－79	1	4	5
80－89	6	7	13
90－99	2	8	10
100－	0	0	0
合計	14	19	33
平均年齢	76.9	86.0	82.2
最高年齢	93	99	
最低年齢	58	74	

## (4) 介護サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	152	163	158	162	170	192	136	133	133	96	111	140	1,746
身体生活	4	4	13	10	13	14	12	13	6	4	1	0	94
生活援助	104	116	119	115	100	102	114	116	108	92	82	100	1,268
延件数	260	283	290	287	283	308	262	262	247	192	194	240	3,108
訪問時間	185.6	199.1	211.0	212.0	203.5	225.2	204.3	198.4	180.1	143.2	142.3	169.5	2274.2
初回加算	4	4	2	4	0	1	2	1	0	1	1	2	22
緊急時加算	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
利用実人数	28	30	29	29	27	28	28	29	24	22	22	25	

## (5) 介護予防・総合事業サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延件数	52	50	44	40	46	40	44	31	34	32	31	34	478
訪問時間	52.0	50.0	44.0	40.0	46.0	40.0	44.0	31.0	34.0	32.0	31.0	34.0	478.0
初回加算	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
利用実人数	7	7	6	6	6	6	6	5	4	4	4	4	

## (6) 障がいサービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延件数	51	54	52	51	49	43	56	52	50	47	50	49	604
訪問時間	26.8	28.2	28.5	26.8	26.6	23.5	30.6	27.6	27.6	24.8	28.0	26.6	325.6
利用実人数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	



# 平成30年度 ふれあいホーム神宮寺 事業報告書

## 1 総括

平成30年度の登録者数は、年間平均22名/月で、前年度より微増となっている。特色としては、重度の利用者が少なく、要介護2の利用者が増えている。前年度は要介護1の方が半数を占めている時もあったが、そのうち数名が要介護2になられ、平均介護度も上がっている。また、高齢・独居世帯が半数以上を占めており、家族になるべく負担のかからないように一人で行うことはしながら自宅での生活を続けておられる方々の利用が多い。認知症等の症状や家族形態等の環境に合わせて、細やかな支援を行っており、個々のニーズに合わせて援助内容をカスタマイズしやすい小規模多機能型の柔軟性が活用されていると思われる。今年度は自宅での看取りを支援させていただいた方が2名あり、ご本人の状況に合わせて訪問看護や医師と連携しながら臨機応変に対応することができた。また、70代の男性利用者が増えたが、いずれの方も独居で突発的かつ複合的なサービスを要する方であったため、支援方法の調整や検討も含めてその対応に追われることが続いた。

前年度は登録者数が少なかったため、旧岩滝町の方の受け入れも行っていたが、いずれの方も施設入所等により利用は終結されている。下半期は施設入所等で数名の方が利用を終結されたのに対して、新規のご相談は少なく、登録に至る方はなかった。

平均介護度は1.9と前年度の1.6より上がっているが、12月以降は2を超える状況が続き、登録者数が減っても、サービス量が増えており、日々の慌たしさは続いている。要介護3以上の方は施設入所を選択されることが多く、今後も重度の登録者が長期的に利用を継続されることは見込み難いと思われる。

通いの平均は266.4/月で、前年度の244.2/月より上がっている。豪雨や台風のために3回通いを中止、4回時間短縮を行ったが、その分は訪問回数を増やして対応した。また訪問は346.3/月で、前年度の306.9/月より大きく上がっている。4月～7月は平均273.3/月だが、8月～3月の平均は382.9/月と非常に多く、月400前後の月は平均介護度も2以上になっており、平均介護度とサービス量が比例していることが数字でもうかがえる。泊りの回数は特に上半期は延べ50件を超えており、4名満床の時も何度もあった。独居・高齢世帯では寒暖差の対応ができずに毎週連泊を希望される方もあり、実人数は3～5名でも、一定数の泊りがあったが、施設入所や金銭面の負担増により現在は泊り希望が少ない状況が続いている。

年間を通しての活動は、心経あげやぬり絵等の創作活動をご利用者が自主的に行えるように物の配置や声かけの工夫をし、自主的な活動として定着しつつある。また、ご利用者の希望に応じた創作活動や体操、外出支援等をきめ細かく行ったが、来年度も通いの時間を一層楽しんでいただけるように工夫を図っていきたい。それぞれの登録者におかれた状況やニーズは異なるが、一人ひとりにしっかりと寄り添い、ご家族や地域と協力しながら個々の生活と生命を支えていけるよう、小規模多機能型ならではの柔軟なサービスを武器に今後も積極的に対応していきたい。

## 【地域支援事業】

いしかわサロンについては、ミニいしかわサロンも合わせると、6つの地区公民館に3ヶ月に1回は巡回するよう継続している。職員だけでなく、ボランティアや地区によっては参加者に体操の講師をお願いし、徐々に参加者主体になっていくような工夫も行っている。しかし、段々と参加人数が減っている地区もあり、世代交代化や、サロン(カフェ)にいられていた方々がデイサービスなどのサービスへ移行された等の理由が考えられ、今後も細かく地区公民館を巡回するのか、内容をどうしていくか等、見直しが必要な時期にある。しかし、少人数だからこそ認知症や体調の変化が見えやすいこともあるため、社協が行う高齢者サロンと重層的な連携を図りつつ、地域包括支援センターと共に住みやすい町づくりが推進されるような活動を続けていきたい。

あわしまサロンも月2～3回実施し(その内1回は神宮寺内で茶話会メインのてらのカフェ)、毎回10名前後の方が参加され、数回で完成させるような物づくりや、聞こえの勉強会、脳トレ体操等、様々な活動を行った。また、小学生と地域高齢者の交流の場としての、夏休みの工作教室は25名もの参加があり、餅つき大会も50名近くの参加者があったりと、地域の方参加型の行事も徐々に定着しつつある。来年度は神宮寺10周年祭から地域行事が始まるので、今後も精力的に地域交流を図ってきたい。

訪問活動も、毎月いしかわサロンに合わせて、民生委員と地域回りを行った。また、職員だけでも地域回りを行っている。他にも個別相談の実施、平成29年度から設置された認知症初期集中支援チームへの協力や認知症啓発活動などの活動も積極的に行っている。

	月末登録者数	平均介護度	延通所数	延訪問数	延宿泊数
4月	23	1.6	278	239	35
5月	23	1.7	308	252	45
6月	25	1.8	321	294	56
7月	21	1.7	288	308	53
8月	22	1.7	255	381	31
9月	24	1.8	255	380	26
10月	22	2.0	273	352	41
11月	21	1.9	252	343	40
12月	22	2.1	252	427	37
1月	22	2.2	256	392	38
2月	21	2.1	231	379	34
3月	18	2.0	228	409	21
年間平均	22.0	1.9	266.4	346.3	38.1

(2) 登録状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規者数	0	1	2	1	0	1	1	0	1	0	0	0	7
中止者数	1	1	1	4	0	2	3	1	0	0	1	3	17
月末登録者数	23	23	25	21	22	24	22	21	22	22	21	18	

(3) 年齢別状況 3月度

	男性	女性	合計
－64	0	0	0
65－69	1	0	1
70－79	3	0	3
80－89	2	4	6
90－99	1	9	10
100－	0	1	1
合計	7	14	21
平均年齢	79.4	92.5	88.1

(4) 介護度別状況 3月度

	男性	女性	合計
要支援1	0	0	0
要支援2	0	1	1
要介護1	1	4	5
要介護2	3	7	10
要介護3	1	2	3
要介護4	2	0	2
要介護5	0	0	0
合計	7	14	21

## 2 部署行事

月	行 事 名
4月	花見ドライブ・加悦谷祭り・壁画作り
5月	ドライブ・壁画作り
6月	遠足(ミップルで昼食と魚っち館)・あわしま祭りの景品作り
7月	あわしま祭り・梅ジュース作り・あわしま祭りの景品作り
8月	ふれあい工作教室・壁画作り・お盆の心経あげ
9月	敬老週間(昼食会とフォトフレームプレゼント)・作品作り・彼岸の心経あげ
10月	ドライブ・芋ほり・秋の遠足(ミップルで昼食と文殊参拝)・文化祭用作品作り
11月	秋の遠足②(舟屋の里・スシロー等)・文化祭(石川・ウイル)・加悦保育所交流会
12月	もちつき大会・年始用の壁画作り・クリスマス会
1月	新年祝賀・壁画作り
2月	虹ヶ丘20周年祝い(握り寿司・踊り)・初詣・ドライブ・壁画作り
3月	ドライブ・神宮寺10周年祭記念品作り・壁画作り・彼岸の心経あげ